

単元名 につぼんのうた みんなのうた(1)

配当時間 2時間

単元の目標 (1) 曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりに気付くとともに、呼吸や発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない歌い方で歌う技能を身に付けることができる。
(2) 旋律の流れやそのまとまりを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつことができる。
(3) 歌詞や曲想を生かした表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとする。

標準的な展開例

03070102_001

【教材名】春の小川（歌唱 共通教材）

(P.6～P.7)

【準備等】範唱CD

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 曲の気分を感じ取り、歌詞の内容にふさわしい表現を工夫して歌う。 ○ 範唱を聴き、曲の感じをつかむ。 ★ ようすや旋律に合った声や歌い方を見つけよう</p> <p>○ 歌詞の表わしている情景や、曲想に合った歌声について考えて歌う。</p> <p>2 歌声や発音に気を付け、旋律の反復や変化を捉えながら表現を工夫して歌詞唱する。 ○ 旋律のまとまりから、ブレスの位置に気を付けて歌う。</p> <p>○ 旋律の流れや曲想について確認し、ふさわしい歌い方で歌う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 教科書の挿画などを基に、言葉の内容を理解させる。 「花々や鳥たちにささやきかけているような小川の様子」を思い浮かべることで、歌詞の内容を理解させる。 旋律のまとまりを意識しながら歌詞唱させる <p>【評】曲想と旋律など音楽の構造との関わりや曲想と歌詞の内容との関わりを意識して歌う活動を通して「知識」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 歌詞を音読させ、「さらさら」からイメージする情景について話し合わせる。 <p>【評】歌詞や曲想を生かして歌う活動を通して「主体的に学習に取り組む態度」を評価する</p> <ul style="list-style-type: none"> 各フレーズの初めの2音にスラーがかかっている。4分音符が途切れないように注意して歌い始めると、3小節目の盛り上がりを生かしやすい。 <p>【評】呼吸や発音の仕方に気を付けてながら歌う活動を通して「技能」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 似ている旋律や違う旋律を探し、曲の進み方を確認させる。 <p>【評】旋律の流れやそのまとまりを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、曲想にふさわしい歌い方を工夫する活動を通して「思考・判断・表現」を評価する。</p>

【 備 考 】